

はじめに

岡崎高等師範学校（以下、岡崎高師ともいう）は、理科系の中等教員の養成を目的として、一九四五（昭和二〇）年四月一日に創設されました。それは、東京（二八八六年）・広島（一九〇二年）・金沢（一九四四年）に続く四番目の、そして最後の高等師範学校としての誕生でした。その後、岡崎高師は、戦後の学制改革によって、一九四九年五月には名古屋大学岡崎高等師範学校となり、一九五二年三月に廃止されました。その創設から廃止までの期間は、わずか七年でした。しかし、その七年間は、戦時期・終戦・戦後改革期にあたり、日本にとっても岡崎高師にとっても、まさに激動の期間であったといえます。

本書では、新制の名古屋大学に包括された学校の一つとしての岡崎高等師範学校に焦点をあて、同校の創設経緯から廃止に至るまでを紹介するとともに、戦後の学制改革において旧制教育機関が置かれた状況についても紹介することにしたいと思います。